

2002年
79.5%

正社員は減少
(25~34歳の正社員比率)
(出所)総務省の労働力調査

2015年
72.7%

100%

12.7% ↓ **住居**

家の負担
重いなあ



25.6%

1 1カ月平均消費支出の内訳
(30歳未満勤労単身世帯、男女の平均を単純平均)
(注)総務省の消費実態調査を基に作成

80

60

40

20

食費

被服及び履物

交通通信

その他の消費支出



削るなら
食費や服

若者の財布の $\frac{1}{4}$ が住居費

若者の暮らしに「住」の負担が重くのしかかっている。30歳未満の働く単身世帯の消費支出に占める住居費の割合は25%。30年前の倍以上だ。家にお金をかけ快適に過ごしたいといった意識もあるが、正規社員が減り賃金が伸び悩んでいることが背景にある。「衣」「食」を減らし「住」を増やす支出内訳からは、ライフスタイルの変化だけでなく若者を取り巻く厳しい環境が浮かんでくる。

給料
上がらない

都会では
家賃も
上がって
るって

車は
いら
ない

女の一人
暮らし、
安全性は
必要

駅近が
いい

**電子版で
「もっと発見！」**

持ち家か賃貸か
どう探す? 理想の住まい

日経ビジュアルデータ 🔍 で検索

